

新旧対照表

(税関手続申請システムを使用して行う
税関業務の取扱いについて)

新	旧
<p>第 3 章 業務関連業務</p> <p>第 4 節 通関関係手続</p> <p>(関税割当証明書の提出猶予の申請)</p> <p>4-27</p> <p>(1) 関税割当証明書の提出の猶予を受けようとする者が、システムを使用して、当該提出の猶予の申請を行う場合には、「関税割当証明書提出猶予申請業務」により、申請者名、申請税関官署等必要事項をシステムに入力し、関税割当証明書提出猶予申請書 (税関様式 T 第 1000 号) <u>又はメキシコ協定関税割当証明書提出猶予申請書 (税関様式 T 第 1000-2 号)</u> に相当する電子ファイルを添付の上、送信することにより行わせるものとする。</p> <p>(2) (省略)</p> <p>第 4 章 調査保税関連業務</p> <p>第 2 節 保税作業関係手続</p> <p>(飼料製造用原料品による製造の終了の届出)</p> <p>2 - 14</p> <p>(1) (省略)</p> <p>(2) (1)の届出を行った者が、手数料令第 8 条第 2 項に該当する者である場合には、後記第 6 章の規定により、製造工場承認手数料を電子的に納付しなければならない。</p>	<p>第 3 章 業務関連業務</p> <p>第 4 節 通関関係手続</p> <p>(関税割当証明書の提出猶予の申請)</p> <p>4-27</p> <p>(1) 関税割当証明書の提出の猶予を受けようとする者が、システムを使用して、当該提出の猶予の申請を行う場合には、「関税割当証明書提出猶予申請業務」により、申請者名、申請税関官署等必要事項をシステムに入力し、関税割当証明書提出猶予申請書 (税関様式 T 第 1000 号) に相当する電子ファイルを添付の上、送信することにより行わせるものとする。</p> <p>(2) (同左)</p> <p>第 4 章 調査保税関連業務</p> <p>第 2 節 保税作業関係手続</p> <p>(飼料製造用原料品による製造の終了の届出)</p> <p>2 - 14</p> <p>(1) (同左)</p> <p>(2) (1)の届出を行った者が、手数料令第 8 条第 1 項第 1 号に該当する者である場合には、後記第 6 章の規定により、製造工場承認手数料を電子的に納付しなければならない。</p>